

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
41211	学校・家庭・地域連携協力推進事業(放課後子ども教室運営事業)	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートB	2
41211	成人式典事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートB	4
42111	中島総合文化センター管理事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートA	6
42112	公民館管理事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートA	7
42112	公民館連絡協議会委託事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートA	8
42112	公民館元気活力支援事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートB	9
42113	公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートB	11
42211	学校施設開放事業	教育委員会事務局	地域学習振興課	シートA	13

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	地域子ども育成担当	連絡先	948-6813		
	部長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リーダー名	主査	山口 哲也	担当者名	主事	野中 脩平
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	地域子ども育成担当	連絡先	948-6813		
	部長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	主査	山口 哲也	担当者名	主事	野中 脩平

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41211	学校・家庭・地域連携協力推進事業(放課後子ども教室運営事業)				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】				笑顔プログラム	214	個別プログラム	笑顔を育むプログラム		
政策	子どもたちの生きる力を育む						重点プロジェクト	出会いから子どもの成長まで「つながる未来を応援するまちづくり」プロジェクト		
施策	青少年の健全育成						主な取り組み	子どもの拠点・居場所づくり		
主な取り組み	社会全体の教育力の向上				市長公約	121	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつります			
取り組みの柱	子どもが社会の一員として主体的に活躍できる環境整備などにより、様々な交流や活動をおととして、青少年が心の豊かさやたくましさ身に付けられるように、学校・家庭・地域が連携した健全育成を推進します。						児童クラブや遊び場を充実するなど、子どもの居場所づくりを進めます。国の幼児教育・保育の無償化に適切に対応しながら、引き続き待機児童の解消を目指します。			
総合戦略	1365	基本目標	①つながる未来を応援する(少子化対策)		取組み	⑤ 放課後子ども教室の内容の充実に取り組みとともに、放課後児童クラブと一体型の取組を推進します。				
		政策	③出会いから子育てまで切れ目のない支援の充実							
		施策	⑥子育て拠点や居場所づくりの充実							
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り						
根拠法令,条例,個別計画等	第2期松山市子ども・子育て支援事業計画、第4次まつやま教育プラン21									
事業の目的(どのような状態にするか)	放課後や週末などに、小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの学習や体験、交流のための安全・安心な活動拠点(居場所)をつくる。地域全体で子どもを育む体制づくりの一環として取り組むことで、地域の教育力の向上と子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。									
背景(どのような経緯で開始したか)	子どもたちに関わる重大事件、青少年の問題行動の深刻化や地域と家庭の教育力の低下等に対応するため、平成19年度に国の補助事業として創設されたのを受けて事業を開始。平成26年7月末に国が策定した「放課後子ども総合プラン」によって、小学校区の半数以上で放課後子ども教室と放課後児童クラブを一体型で実施することを目指すとの方向性が示された。令和2年3月に策定された「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」にも整備を進める旨を記載しており、令和5年度末までに、児童クラブ実施校区の半数程度で一体型の放課後子ども教室の実施を目指している。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	【対象】市内の小学生 【事業内容】 ・放課後子ども教室(令和3年度:30箇所)を開設し、地域住民の参画を得て、宿題の見守りやプリント学習、スポーツ・レクリエーション、高齢者との昔の遊びを通じた交流、茶道・書道などの文化体験などを実施。 ・校区ごとに組織された各実行委員会に委託									
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		参加児童に傷害保険(年間1人800円)の加入を義務付けている。					
始期・終期(年度)	平成	19	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	社会教育総務費	R3 予算措置時期	当初
現計予算額(A)(単位:千円)						54,970		52,995		56,884
決算額(B)(単位:千円)						46,460		43,992		
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金					15,486		14,464		20,961
	県支出金					0		400		0
	市債					0		0		0
	その他					0		0		0
一般財源					30,974		29,128		35,923	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算						放課後子ども教室運営委託料43,392千円 体験活動等確保事業委託料600千円		放課後子ども教室運営委託料56,884千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり				
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)				8,510		9,003		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	市内30箇所放課後子ども教室を開設し、地域住民の参画を得て宿題の見守りやプリント学習、スポーツ・レクリエーション、高齢者との昔の遊びを通じた交流、茶道・書道などの文化体験などを実施した。 また、県の補助金を活用し、地域住民や放課後子ども教室スタッフの参画を得て、正月飾り作成などの体験やオンラインでの交流などの活動を市内2箇所で開催した。									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			新型コロナウイルス感染症の影響により開催回数の減少があったものの、感染防止対策を行いながら、各地域で教室を運営できた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		多くの児童に安全・安心な居場所を提供し、学習や体験などの場となっている。子どもたちの健全育成と地域の教育力向上に寄与した。					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	地域のボランティアによって運営される事業のため、スタッフの継続的な確保が困難となっているケースもあり、教室の継続性を注視していく必要がある。				環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		各教室への訪問などを通じて、教室が抱える課題や問題点の把握に努めるとともに、研修会などの機会も活用し、教室スタッフの人材育成など課題解決に向けた取り組みを行う。			
R4年度の目標	引き続き、地域の教育力の向上と子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。				R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		市内に放課後子ども教室を開設し、地域住民の参画を得て、宿題の見守りやプリント学習、スポーツ・レクリエーション、高齢者との昔の遊びを通じた交流、茶道・書道などの文化体験などを実施する。 また、放課後子ども教室でパソコンを購入し、インターネットを活用した交流などができる環境整備を行う。			

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	放課後子ども教室の実施箇所数	箇所	目標値	35	35	35	35	35	目標値	35	
			実績値	32	31	30			達成年度	R5年度	
			% 達成度	91	89	86					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	地域の協力により運営できる現実的な目標値			
	本指標の設定理由	「第4次まつやま教育プラン21」で策定した目標値であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	一体型の実施箇所数	箇所	目標値	25	25	25	25	25	目標値	25	
			実績値	23	22	22			達成年度	R5年度	
			% 達成度	92	88	88					
	指標の種類	3.累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	小学校区の半数程度で放課後子ども教室と放課後児童クラブの一体型での実施を目指す			
	本指標の設定理由	「第2期松山市子ども・子育て支援事業計画」で策定									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	目標値が困難になりつつある。今後は、新規開設に向けて、地域ごとの実情を考慮しながら進めていく。									
	成果指標	概ね目標値を達成している。今後も箇所数を増やすため、地域と連携をしていく必要があると考えている。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	県の補助金を活用し、正月飾り作成などの体験やオンラインでの交流などの活動を市内2箇所で開催した。										

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	地域子ども育成担当	連絡先	948-6813			
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リダー名	主査	山口 哲也	担当者名	主事	野中 脩平	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	地域子ども育成担当	連絡先	948-6813			
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リダー名	主査	山口 哲也	担当者名	主事	野中 脩平	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	41211	成人式典事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	子どもたちの生きる力を育む			重点プロジェクト	-	
施策	青少年の健全育成			主な取り組み	-	
主な取り組み	社会全体の教育力の向上		市長公約	-		
取り組みの柱	子どもが社会の一員として主体的に活躍できる環境整備などにより、様々な交流や活動をとおして、青少年が心の豊かさやたくましさを身につけられるように、学校・家庭・地域が連携した健全育成を推進します。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		
根拠法令,条例,個別計画等		第4次まつやま教育プラン21				
事業の目的(どのような状態にするか)	<p>【松山市成人式代替行事】 令和3年の成人式が新型コロナウイルスの影響で開催できなかったため、その代替行事を実施し、青年のふるさとへの帰属意識を養う機会を創出し、地域教育力の再生等を図ることを目的とする。</p> <p>【松山市成人式典】 社会的な義務や責任あるいは地域社会の一員としての自覚を持ち、夢や目標に向かって自己研鑽する青年を地域社会の新たな担い手としてその活躍や貢献を期待する地域住民が、成人の日の趣旨にのっとり、それぞれの地域性を生かしながら主体的に成人式典及び記念事業を行い、青年のふるさとを思う心や地域への帰属意識を養うとともに、多くの住民の協力のもと、地域の子どもは地域で育てるという意識を高め、「地域教育力」の再生、向上を図ることを目的とする。</p>					
背景(どのような経緯で開始したか)	<p>紀元前200年頃の中国の「加冠の儀」が日本に伝わったと言われている。日本では、大人社会への通過儀礼として男子の「元服」、女子は「成女子」が行われていた。昭和21年終戦の混乱や虚脱感が漂う中、埼玉県蕨(わらび)町(現在:蕨市)で「今こそ青年が英知と力を結集し、祖国再建の先駆者として自覚をもって行動すべし」と成人の前途を祝す行事「青年祭」が催された。この趣旨や意義が高く評価されて、昭和23年7月、国民の祝日に関する法律で「成人の日」が制定された。</p> <p>成人式は、昭和24年から各地区公民館や分館で実施されるようになったが、昭和57年からは、松山市が主催し新成人が一堂に会する方式となった。平成15年からは、各地区公民館が実行委員会を設置して実施する地域開催方式となっている。</p>					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<p>【対象】 ○松山市成人式代替行事 ・令和2年度に新成人として該当した者 ○松山市成人式典 ・当該年度に新成人として該当する者</p> <p>【事業内容】 ○松山市成人式代替行事 ・松山市成人式代替行事実行委員会へ補助金を交付 松山市成人式代替行事実行委員会主催による成人式典の代替行事を松山市総合コミュニティセンターで開催 ・地域の特性を生かした温もりある行事を実施 該当者へ案内状を発送するほか、広報紙やホームページで周知 ○松山市成人式典 ・各地区成人式実行委員会へ補助金を交付 各地区成人式実行委員会主催による成人式典を29会場で開催 地域の特性を生かした温もりある記念事業を実施 ・市長が出席できない会場では、市長のビデオメッセージを上映 該当者へ案内状を発送するほか、広報紙やホームページで周知</p>					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由		
始期・終期(年度)	平成 14	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	青少年教育費	R3 予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				6,428			12,843			6,419
決算額(B)(単位:千円)				4,628			12,947			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金		0		6,079		0		0	
	県支出金		0		0		0		0	
	市債		0		0		0		0	
	その他		0		0		0		0	
	一般財源		4,628		6,868		6,419			
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				式典等開催経費(補助金):11,426千円 案内状等郵送費:1,140千円 案内状印刷代等:306千円			式典等開催経費(補助金):5,810千円 案内状印刷代等:157千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				流用による増あり						
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			1,800			-104			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	<p>・令和3年成人式の代替行事が、松山市成人式代替行事実行委員会の主催で、令和3年12月30日(木)に松山市総合コミュニティセンターで実施された。 ・令和4年の成人式が、令和4年1月9日(日)に市内29会場に分かれて、地域の主催で開催された。</p>					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	年度当初目標どおり、実施することができた。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	本事業の実施により、対象者のふるさとを思う心や地域への帰属意識が養われるきっかけとなった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	令和4年4月1日から成年年齢が18歳に引き下げられたことに伴い、成人式典の名称を検討する必要がある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組み改善策		専門家や当事者などの意見を確認し、令和4年度以降の成人式典の名称を決定する。	
R4年度の目標	青年のふるさとを思う心や地域への帰属意識を養うとともに、多くの住民の協力のもと、地域の子どもは地域で育てるという意識を高め、「地域教育力」の再生、向上を図るため、市内29会場で各地区の実行委員会主催による手づくりの成人式典を開催し、地域の特性を生かした記念事業を実施する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・該当者へ案内状を発送 ・広報紙やホームページで関係者へ周知 ・各地区で実施	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	成人式典開催箇所数	箇所	目標値	29	29	29	29	29	目標値	29	
			実績値	29	—	29	—	—	達成年度	R5年度	
			% 達成度	100	—	100	—	—			
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	高齢化などの影響により、主催者側の人員確保が困難な地域が出る可能性もあるため、現状維持を目標に設定する。			
	本指標の設定理由	本事業の目的を達成するために式典等を行った箇所であるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	成人式典出席者数	人	目標値	3,680	3,680	3,680	3,680	3,570	目標値	3,570	
			実績値	3,550	—	3,302	—	—	達成年度	R5年度	
			% 達成度	96	—	90	—	—			
	指標の種類	1.単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	若者の地域離れの現状から、対象者の約3/4を出席率の目標とする。			
	本指標の設定理由	出席人数が、本事業の目的達成につながるため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	市内全29地域の主催による成人式典を予定どおり実施することができた。									
	成果指標	新型コロナウイルス感染症の影響があったと考えられるものの、目標値に近い出席者数を得て成人式典が開催された。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容		成人式代替行事が開催され、986人の参加があった。 また、代替行事の動画配信を行い、参加が叶わなかった青年のふるさとへの帰属意識を養うきっかけとした。									

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	中島総合文化センター	連絡先	997-1181				
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リダー名	副主幹	芳野 裕成	担当者名	主任	天野 清治	主任	森 正亨
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	中島総合文化センター	連絡先	997-1181				
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リダー名	副主幹	芳野 裕成	担当者名	主任	天野 清治		

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42111	中島総合文化センター管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	多様な学習機会の提供		市長公約	-			
取り組みの柱	生涯をとおして、誰もがいつでも自己実現に向けた学習を効果的に行うことができるよう、地域の団体や企業などと連携して学習機会の拡充を図るとともに、関係団体への支援を強化します。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第30条、地方自治法第244条の2第1項、松山市中島総合文化センター条例						
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の教育文化の振興を図ることを目的に設置した総合文化センターの管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	住民の文化、芸術に対するニーズの高まりを背景に、子どもからお年寄りまで生涯をとおした学習機会を提供すると共に、学習をとおして、利用者が交流を深める拠点施設として、平成12年4月に開館した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするか)	中島総合文化センターに中島図書館と中島公民館を置き、適正な管理運営及び環境整備を行い、あわせて市民の多様なニーズに対応する学習機会を提供する。 1.講師招へい事業(ふるさと講演会) 2.瀬戸内海俳句大会 3.市民の作品(絵画、写真など)展示						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	講師招へい事業への受講料(入場料)			
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		R3予算措置時期	
				項	目	社会教育施設費	当初	繰上	
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				18,064		16,863		16,073	
決算額(B)(単位:千円)				14,537		15,251			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			0		0		0	
	その他			148		126		327	
	一般財源			14,389		15,125		15,746	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				光熱水費 5,787千円 委託料 6,057千円		光熱水費 6,404千円 委託料 6,959千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B) 3,527		1,612			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	施設の維持管理(施設利用者R3実績数:1,514人)、瀬戸内俳句大会(投句受付(投句R3実績数:1,478句)・入選選評は実施し、表彰式は中止)などの実施(ふるさと講演会は、コロナ禍のため中止)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	コロナ禍により、事業の時間短縮や規模縮小など変更し、感染拡大防止に取り組みつつ一部事業を実施した。また、施設の管理運営(特に空調関係の修繕)は、適切に実施した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		島嶼部地域での講演会や学習会を支援すると共に島文化を島内外に発信している。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	施設建築後20年を迎え、建物や各種機器に経年劣化や老朽化が見られる。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策	老朽化している設備等をきめ細かく管理することにより、故障リスクを最小限に止め、市民が安心して施設を利用できる環境整備に努める。		
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じた上で事業実施を目指し、できるだけ多くの住民の参加が得られるような学習機会の提供を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	施設の維持管理 ふるさと講演会・瀬戸内海俳句大会などの実施		

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602		
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	大内 靖子	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602		
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	副主幹	担当者名	主事	大内 靖子	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42112	公民館管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	多様な学習機会の提供		市長公約	-			
取り組みの柱	公民館においては、市民の多様なニーズに対応できる学習内容や学習情報を提供するとともに、生涯学習リーダーや団体の育成など、学習活動の充実を図ります。			-			
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	社会教育法、松山市公民館条例及び同施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	中央・41地区公民館を円滑に運営し、生涯学習の場を提供する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	・平成15年度まで:各公民館で維持・管理経費を負担し、公民館使用料は公民館の収入となっていた。(公設民営) ・平成16年度から:公民館の維持管理経費が全額市負担となり、公民館の使用料が市の収入となった。(公設公営) 公設民営時には、公民館使用料が公民館の運営財源となっていたが、地域間格差が指摘されたことを受け、安定的な公民館運営を図るため、公設公営の運用形態に移行した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	中央・41地区公民館対象。公民館運営に必要な維持・管理経費を松山市が負担する。 【主な維持・管理経費】 ・燃料費(プロパンガス) ・光熱水費(電気・ガス・水道) ・通信運搬費(電話) ・委託料(ごみ処理・警備・清掃)						
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	公民館を使用する場合(貸館):公民館使用者は、松山市公民館条例で定める公民館使用料を納める。			
始期・終期(年度)	平成	16	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		公民館費		R3予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				49,571		50,402		45,664			
決算額(B)(単位:千円)				40,262		42,433					
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		0		0			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			31,804		21,729		37,337			
一般財源			8,458		20,704		8,327				
主な経費(単位:千円) ※R3→決算、R4→予算				・光熱水費 33,279千円 ・通信運搬費 3,729千円 ・燃料費 879千円		・光熱水費 35,275千円 ・通信運搬費 4,460千円 ・燃料費 1,189千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		9,309		7,969			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	中央公民館・41地区公民館の維持・管理 公民館活動に係る経費の支出(光熱水費等)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	予定通り実施できたため。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	松山市が公民館の維持・管理経費を負担することにより、安定的な公民館運営が可能となっている。			
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	電気料金等の値上げなど、外的要因による経費の増加		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策	電気の調達方法の見直し等によってコストの縮減に努める。		
R4年度の目標	市民が安心して利用できるよう公民館を維持していく。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)	中央公民館・41地区公民館の維持・管理経費の負担		

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6918
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リーダー名	副主幹	担当者名	
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6918
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	副主幹	担当者名	

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42112	公民館連絡協議会委託事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	2:委託	
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-		
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-		
主な取り組み	多様な学習機会の提供		市長公約				
取り組みの柱	公民館においては、市民の多様なニーズに対応できる学習内容や学習情報を提供するとともに、生涯学習リーダーや団体の育成など、学習活動の充実を図ります。						
総合戦略	基本目標	-		取組み	-		
	政策	-			-		
	施策	-			-		
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	第4次まつやま教育プラン21、松山市公民館連絡協議会会則						
事業の目的(どのような状態にするか)	地域の教育・文化の振興という公民館の目的を果たすため、公民館職員の研修や関係団体等との連携役のほか、行政の協働役として組織した団体で、各種事業を委託することで、公民館運営の円滑化及び充実を図る。						
背景(どのような経緯で開始したか)	昭和21年に松山市に公民館が発足してから昭和24年までは、それぞれの地域で手探りの活動を行っていた。昭和25年に同連絡協議会を結成し、以降、地域性と主体性を保ちながら交流を通じ、全市的な視野で活動を広めている。						
対象・事業内容(誰に対して、何をするのか)	対象:松山市内41公民館 範囲:松山市内全域 松山市公民館連絡協議会へ委託料を支出し、地区公民館の範囲を超えて広域(全市またはブロック)での各種研修等のほか、積極的に公民館相互の連携を図る活動 1.各種会議(総会、三役会、理事会、主事部会等) 2.各種研修(公民館長研修、公民館主事研修、書記・補助職員研修等) 3.松山市公民館研究大会 4.松山市公民館連絡協議会ホームページによる情報発信 5.関係機関・団体等との連携(地区成人式、市民大清掃、人権教育分野への協力等)						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	全国公民館研究会愛媛県大会兼中国・四国地区公民館研究会愛媛大会:参加負担金3,000円 愛媛県公民館研究大会:参加負担金1,000円			
始期・終期(年度)	昭和	25	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費	項	社会教育費	目	公民館費	R3予算措置時期	当初
				R2年度			R3年度			R4年度
現計予算額(A)(単位:千円)				20,541			20,726			52,009
決算額(B)(単位:千円)				20,541			20,726			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金				0		0		0	
	県支出金				0		0		0	
	市債				0		0		0	
	その他				0		0		0	
	一般財源				20,541		20,726		52,009	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算				委託料 20,726千円			委託料 52,009千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等							市公運補助職員の給料について公民館元気活力支援事業から、事業移管を行った。			
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)		0			0			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	・松山市公民館連絡協議会役員会の開催 ・松山市公民館研究大会の開催、各種研修の実施 ・ホームページによる情報発信 ・各種団体等からの依頼事項に対する協力 など					
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	各種研修や主事部会の活動の短縮開催や人員縮小などを行い、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行って、事業を実施した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域でスポーツを行う機会を提供することで、住民の健康増進や地域コミュニティの中心としての役割を高めている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	若者世代の地域活動への参加		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		若者世代の地域活動への参加を促すための調査研究	
R4年度の目標	新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、一人でも多くの市民が公民館活動に参加していただくことで、笑顔広がるまちづくりを目指す。		R4年度の主な取組み内容(予定含む)		・松山市公民館連絡協議会の開催 ・各種研修の実施 ・松山市公民館研究大会の開催 ・ホームページによる情報発信 ・各種団体等からの依頼事項に対する協力 ・主事部会での調査研究	

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 池田 知奈美
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 兵頭 佳奈

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42112	公民館元気活力支援事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	2:委託
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	生涯学習の推進			主な取り組み	-	
主な取り組み	多様な学習機会の提供		市長公約	132	子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	公民館においては、市民の多様なニーズに対応できる学習内容や学習情報を提供するとともに、生涯学習リーダーや団体の育成など、学習活動の充実を図ります。				外国語教育やプログラミング教育の充実、「ふるさと松山学」の活用など、生きる力を育む教育を進めます。また、地域の高齢者との交流を促すなど、子どもたちが健全に成長できる環境をつくります。	
総合戦略	2253	基本目標	②松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)			
		政策	②移住の促進			
		施策	⑤移住者の定着支援体制の充実			
総合計画の実施計画掲載有無(R3)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R3)	2:無し		

根拠法令,条例,個別計画等 社会教育法、松山市公民館条例及び施行規則、第4次まつやま教育プラン21

事業の目的(どのような状態にするか)	地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行い、それら公民館活動の紹介や地域情報を積極的に発信し、地域に密着した円滑な公民館運営を行うことで、元気で活力に満ちた人づくり・地域づくりを目指すことを目的とする。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成20年度より各種事業(地区公民館委託事業・生涯学習振興事業・青少年地域活動振興事業)を一本化し、これに子育てサロンなどを加えて総合的に公民館運営を行うこととなった。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山市内41公民館と地区住民 範囲:松山市内全域 各公民館事業推進委員長へ委託料を支出し、職員の配置と経費を負担するほか、地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行う。 1.分館長・分館主事の委嘱と管理人の雇用 2.地域住民のニーズに即した学習講座・・・健康教室、料理教室、パソコン教室、軽スポーツ教室、絵本の読み聞かせ等 3.地域課題解決に資する活動・・・子育てサロン、いじめ予防、子ども会議、伝統文化継承、環境教室、交通事故防止等 4.啓発活動及び情報提供・・・公民館だよりや啓発チラシ等の発行						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	地元負担金、活動参加費			
始期・終期(年度)	平成	20	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		公民館費		R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				R2年度		R3年度		R4年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				61,706		61,454		61,454		34,905	
決算額(B)(単位:千円)				59,264		59,892		59,892		34,905	
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		0	
	県支出金			0		0		0		0	
	市債			0		0		0		0	
	その他			0		0		0		0	
	一般財源			59,264		59,892		59,892		34,905	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						一般事務委託料:10,341千円 管理事務委託料:36,734千円 活動事業委託料:12,817千円		一般事務委託料:10,752千円 管理事務委託料: 9,623千円 活動事業委託料:14,530千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		2,442		1,562			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合があります。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地域に密着した円滑な公民館運営を行った。 ・分館長・分館主事の委嘱と管理人の雇用 ・地域住民ニーズに即した学習講座 ・地域課題解決に資する活動 ・啓発活動及び情報提供 など					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	新型コロナウイルス感染の拡大防止対策の観点から、学習講座等を中止したため活動回数・参加人数が減っている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由	地域に委託することにより、住民自らが地域の魅力や課題について考え、活動に反映している。また、地域主体で各種の事業を行うことで、市直営の事業を行うよりもコストをかけずに多くの事業を実施できるメリットがある。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	学習講座の受講者が固定化傾向にある。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		新たな取り組みや、事業の周知・啓発などに努める。	
R4年度の目標	地域住民と協働で事業を実施していくことで、公民館活動並びに地域コミュニティのより一層の拡充を図る。*		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・分館長・分館主事の委嘱(継続) ・管理人の雇用 ・地域住民のニーズに即した学習講座 ・地域課題解決に資する活動 ・啓発活動及び情報提供 など	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	講座及び活動数(延回数)	回	目標値	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	目標値	3,000	
			実績値	2,481	1,469	1,400			達成年度	R5年度	
		%	達成度	83%	49%	47%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		希望的数値として、暫定的に目標値とする。			
	本指標の設定理由	安定的な事業運営に必要で客観的な数値であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	参加者数(延人数)	人	目標値	88,000	88,000	88,000	88,000	88,000	目標値	88,000	
			実績値	69,329	27,369	22,175			達成年度	R5年度	
		%	達成度	79%	31%	25%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方		希望的数値として、暫定的に目標値とする。			
	本指標の設定理由	事業の充実を示す客観的な数値であるため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	ほとんどの公民館で新型コロナウイルス感染の拡大防止対策により事業を中止したことで、活動回数は前年度より減っている。									
	成果指標	ほとんどの公民館で新型コロナウイルス感染の拡大防止対策により事業を中止したことで、参加者数は前年度より減っている。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リーダー名	副主幹	担当者名	主査 竹田 昇司
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 小池 勇樹

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42113	公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業	事業性質	1-3:自治事務(努力規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	223	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	多彩な人材を育む				重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	生涯学習の推進		市長公約	132	主な取り組み	まちづくりに携わる団体等への支援
主な取り組み	多様な学習機会の提供				子育て環境を充実し、子どもたちの未来を応援する松山をつくります	
取り組みの柱	生涯学習の成果を社会的な資本と捉え、よりよいまちづくりや子どもの育成などに活用できるような機会を提供します。		取組み	3	外国語教育やプログラミング教育の充実、「ふるさと松山学」の活用など、生きる力を育む教育を進めます。また、地域の高齢者との交流を促すなど、子どもたちが健全に成長できる環境をつくります。	
総合戦略	2253	基本目標 ②松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ②移住の促進 施策 ⑤移住者の定着支援体制の充実			③ 移住者が移住後に不安のない生活が送れるよう、公民館などが中心となって移住者交流会を定期的に開催するなど、地域が支援する機会を創出します。また、子育て関連施設でもウェルカムパーティーを開催するなど子育て世帯等を応援します。	
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R3)	1:有り		

根拠法令,条例,個別計画等 社会教育法、松山市公民館条例及び施行規則、第4次まつやま教育プラン21、公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業補助金交付要綱

事業の目的(どのような状態にするか)	地域住民の絆を深め、人と人がつながり、支え合う社会を構築することを目的に、住民自らが地域にある素材や特性を活かし、温もりのある絆をより一層深める活動に対して支援を行う。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成11年度末に「しあわせづくり地区推進委員会」が解散し、生涯学習まちづくりの先導的役割を公民館が引き継いだ。平成12年度から「しあわせづくり推進事業委員会」に交付していた補助金を統合し、「オンリーワンのふるさとづくり推進事業」として事業運営を開始した。平成29年度から補助制度や基準を見直した「公民館笑顔あふれる絆づくり推進事業」にリニューアルした。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:松山市内41公民館の事業推進委員長及び『立岩ダツシユ村』事業推進委員長 範囲:松山市内全域 事業内容:各々地域にある様々な素材を活かし、地域課題解決に向け取り組む社会教育活動を、企画・事業化したものに、松山市が必要経費の一部について補助金を交付する。 (1)特別事業・地域の特性、歴史、文化を活かした活動等 (2)一般事業・地域活力を高めふれあいと連帯感のもてる活動・地域ぐるみで参画協働出来る活動・環境、健康、福祉、教育をテーマにした活動・世代間が交流する活動・地域交流を目的としたスポーツ大会の開催等・					
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	地元負担金、活動参加費		
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		社会教育費		公民館費	R3 予算措置時期	当初
				項	目	目	目			
				R2年度		R3年度		R4年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				23,712		30,840		30,887		
決算額(B)(単位:千円)				12,226		13,034				
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳、 R4→予算内訳	国支出金			0		0		0		
	県支出金			0		0		0		
	市債			0		0		0		
	その他			6		315		540		
一般財源				12,220		12,719		30,347		
主な経費(単位:千円) ※R3→決算R4→予算						委託料 283千円 補助金 12,724千円		委託料 486千円 補助金 30,301千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越、補正、流用、事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		11,486		17,806		

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・事業推進委員長への補助金の支出 ・市内41公民館で274事業の実施に向けた取組みを行った。(スポーツ大会・文化祭・夏祭り等) ・新型コロナウイルス感染症防止等による事業中止が150事業あったため、実施できた事業は124事業であった。					
主な取り組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点、悪かった点など	新型コロナウイルス感染の拡大防止対策の観点から、事業を中止したため活動回数・参加人数が減っている。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域が主体となって事業を実施することにより、住民自らが地域の魅力や地域課題について考え、まちづくり・人づくりに参画している。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	5年目を迎えて本事業も各公民館に浸透し、事業内容も落ち着いてきた傾向にある。		環境変化、障害、課題等解決のため、R4年度で取り組む改善策		新たに設けた15の評価項目を基に、各種事業の見直しを行う。	
R4年度の目標	新型コロナウイルス感染症の影響で、実施できなかった事業を再開し、住民自らが地域にある素材や特性を活かし、温もりのある絆をより一層深める活動に支援を行うことで、地域住民の絆を深め、人と人がつながり、支え合う社会の構築を図る。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		「夏祭り」や「文化祭」などの地域行事や各種スポーツ大会などのコミュニティー事業の支援は継続しつつ、その地域ならではの特性、歴史、文化の活用などのテーマに即した活動に対し手厚く支援する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)
 【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	講座及び活動数(延回数)	回	目標値	299	299	300	300	300	目標値	300	
			実績値	262	119	124			達成年度	R5年度	
		%	達成度	88%	40%	41%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	希望的数値として、暫定的に目標値とする。				
	本指標の設定理由	安定的な事業運営に必要で客観的な指標であるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	参加者数(延人数)	人	目標値	140,000	140,000	140,000	140,000	140,000	目標値	140,000	
			実績値	119,000	25,554	28,744			達成年度	R5年度	
		%	達成度	85%	18%	21%					
	指標の種類	5.現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	希望的数値として、暫定的に目標値とする。				
	本指標の設定理由	住民の関心を測る指標として相応しいため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%		達成度									
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	活動回数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染の拡大防止対策により事業を中止したことによる。地域の活力を失わないように、引き続き、事業活動の維持継続を目指す。									
	成果指標	参加者数の大幅な減少は、新型コロナウイルス感染の拡大防止対策により事業を中止したことによる。今後も、世代を問わず、多くの方に参加してもらえるよう、事業内容を精査し、実施する。									
上記の指標以外に指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和4年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602
	部等長名	鷲谷 浩三	課等長名	西口 力生	リーダー名	副主幹	担当者名	主事 池田 知奈美
令和3年度	部局等名	教育委員会事務局	課等名	地域学習振興課	担当グループ名	公民館元気育成担当	連絡先	948-6602
	部等長名	井出 修敏	課等長名	池田 浩樹	リーダー名	副主幹	担当者名	主任 兵頭 佳奈

1. 事業概要【Plan】 ※令和3年度の内容

事務事業名(施策コード)	42211	学校施設開放事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	健全で豊かな心を育むまち【教育・文化】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	多彩な人材を育む			重点プロジェクト	-	
施策	地域スポーツの活性化			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域スポーツ活動の推進		市長公約	-		
取り組みの柱	小中学校の体育館・グラウンドの開放や、公民館対抗のスポーツ大会などを行うほか、積極的な情報発信により、ライフステージに応じた市民の健康増進や体力の向上に寄与する地域スポーツ活動の活性化を図ります。			-		
総合戦略	基本目標	-				
	政策	-				
	施策	-				
総合計画の実施計画掲載有無(R3)		2:無し	重点的取組事業該当有無(R3)		2:無し	

根拠法令,条例,個別計画等	松山市立学校運動場夜間照明施設使用料条例、松山市立学校体育施設の開放に関する規則、第4次まつやま教育プラン21						
事業の目的(どのような状態にするか)	学校の体育施設(体育館・運動場等)を学校教育に支障のない範囲で地域スポーツ活動の場として開放することにより世代を超えたスポーツを振興する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	スポーツ振興が国の施策として示されたことにより、気軽にスポーツが行える場所として、身近な学校の体育施設を活用する必要性が生じたことから、昭和51年7月1日に「松山市立学校体育施設の開放に関する規則」を定め、事業を開始した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	開放該当校の各管理運営委員会を通じて教育委員会に登録された団体(地域や町内会、事業所等で組織・構成された団体)に、地域スポーツの場として、学校教育に支障のない範囲で市立小中学校の体育施設(体育館・運動場等)を開放する。 管理運営は、地域や学校関係者で組織する松山市立学校開放体育施設管理運営委員会で行っており、事務局は各校区の公民館(一部は学校)に設けている。 事業費は、主に運動場用のナイター施設の電気料金や修繕工事費等で、管理運営委員会に対しての人員費は支出していない。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由	松山市立学校運動場夜間照明使用料条例(1回あたり 運動場 3,090円、体育館1面 510円、柔剣道場 510円、庭球場 770円、卓球場 200円、トレーニングルーム1人あたり 200円)			
始期・終期(年度)	昭和	51	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	教育費		目	体育施設費	R3予算措置時期	当初
				項	保健体育費				
				R2年度		R3年度		R4年度	
現計予算額(A)(単位:千円)				105,147		117,065		81,076	
決算額(B)(単位:千円)				93,694		97,221			
内訳(単位:千円) ※R2→R3 決算内訳, R4→予算内訳	国支出金			0		0		0	
	県支出金			0		0		0	
	市債			76,700		81,000		62,800	
	その他			4,835		3,291		5,774	
	一般財源			12,159		12,930		12,502	
主な経費(単位:千円) ※R3→決算,R4→予算						ナイター施設電気料金 4,828千円 夜間照明施設更新工事 90,078千円		ナイター施設電気料金 6,242千円 夜間照明施設更新工事 69,841千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等									
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		11,453		19,844	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R3年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	小学校の体育館51校、運動場17校、中学校の体育館27校、柔剣道場16校、卓球場2校、運動場14校、庭球場4校の体育施設を開放しており、全体で891団体の登録があった。令和2年度から錆等による劣化が激しい照明設備から更新工事を行っている。(令和3年度更新工事実施 4校)					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	R3年度は新型コロナウイルス感染の拡大防止対策の観点から、開放を休止した期間があったため、利用頻度は下がったが、団体登録数は増加した。		
施策への貢献度(目的達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	地域でスポーツを行う機会を提供することで、住民の健康増進や地域コミュニティの中心としての役割を高めている。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R3年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	グラウンドの夜間照明設備が半数以上が設置から40年以上経過し、老朽化している。		環境変化,障害,課題等解決のため,R4年度で取り組む改善策		グラウンドの夜間照明設備の更新工事を行う(2校)	
R4年度の目標	学校や管理運営委員会の協力を得ながら、誰もが利用しやすい快適な施設環境の維持に努めることにより、地域スポーツ活動の場として提供する。		R4年度の主な取り組み内容(予定含む)		・各管理運営委員会と連携して、体育施設の開放の実施。 ・夜間照明の更新工事の実施。	